

手賀沼通信(第314号)

Eメール: nittay@jcom.home.ne.jp
http://jfn.josuikai.net/semi/koyukai

http://ynitta.cocolog-nifty.com/blog/
http://tegatu2.web.fc2.com

新田良昭

3月号に続いて手賀沼通信ブログからの抜粋です。

手賀沼通信ブログ抜粋

NHKのBS1とBSプレミアムが1つになるのは当然(No. 1761)(令和5年11月27日)

2023年12月1日からNHKのBS1とBSプレミアムが1つのBS101になると盛んに放映されています。当然のことで遅すぎたくらいと思っています。

私はニュースやスポーツ放送はリアルタイムで見ますが、それ以外の番組は録画して見えています。理由は、自分の好きな時間に見られることや、見たい番組の時間が重複している場合があることや、民放の場合はコマーシャルを飛ばせられることなどのためです。

一番多く録画するのがBSプレミアムでその次がBS1になっています。

ところがこの2つのチャンネルは「再放送番組」や「重複放送番組」が多いのです。以前放送したものから選んで放送する「選択番組」も少なくありません。これは電波と時間とお金の無駄遣いと言っても過言ではないと思います。例えば朝ドラと大河ドラマはBSプレミアムで録画して見えますが、どちらも総合テレビで同じ日に放送されます。

どれだけ再放送などが多いか、11月26日(日曜日)のBSプレミアムとBS1の番組を新聞の番組表で調べてみました。

朝6時から夜11時までの1020分間の「再放送」と「選択番組」と「重複番組」の数と時間です。

BSプレミアムでは「再」が11、「選」が2、「重複」が2、で合計15番組、時間は1020分中890分で87.3%を占めています。

BS1では「再」が7番組、時間は1020分中440分で43.1%を占めています。

2つのチャンネルの合併直前でいつもより再放送などが増えているのかもしれませんが、1つのチャンネルにするのは大賛成です。その代わりに質の高い良い番組を放送するよう期待しています。

関東中学校駅伝大会で我孫子の中学校2校が1位と2位になる(No. 1764)(令和5年12月9日)

2023年12月3日に千葉県柏市で行われた関東中学校駅伝大会で、我孫子市の久寺家中学校が優勝、我孫子中学校が準優勝の栄冠を獲得しました。

第32回関東中学校駅伝大会は、東京都、神奈川県、茨城県、栃木県、埼玉県、群馬県、山梨県から各4校、千葉県から5校の合計33校が出場し、柏市の柏の葉総合競技場から発着する周回コース(6区間、18.54キロ)で行われました。

千葉県代表の5校のうち我孫子市から2校が選ばれました。その2校がワン・ツウ・フィニッシュを成し遂げたのです。わが我孫子市にとって大変名誉ある結果となりました。

我孫子市の中学校は駅伝に強いという伝統があります。コロナの前年の2019年に行われた千葉県中学校駅伝大会では、男子は我孫子中学校が優勝、ベストテンに5校が入りました。女子は白山中学校が優勝し、久寺家中学校が準優勝しています。そして我孫子中学校の男子と白山中学校の女子のチームは滋賀県野洲市で開催された「第27回全国中学校駅伝大会」に出場しました。

次は中学校に負けず、来年の箱根駅伝では中央学院大学に頑張ってもらいたいものです。

大谷翔平選手が移籍先にロサンゼルス・ドジャースを選ぶ(No. 1765)(令和5年12月10日)

2023年12月9日、大谷翔平選手が移籍先を同じロサンゼルスに本拠地を置くナショナルリーグのドジャースを選びました。

10年契約で総額7億ドル（1015億円）です。プロスポーツ史上最高額です。

大谷選手がどこと契約を結ぶかをめぐっては、連日、日米で大騒ぎとなっていました。最終的には、エンゼルス残留か、同じロスのドジャースを選ぶか、トロントのブルージェイズか、3球団に絞られていたようですが、ドジャースに決まりました。

大谷選手は次の球団を選ぶ条件を3つ出していたようです。

- ・ポストシーズンに進出できる強い球団
- ・二刀流での活躍を認めもらえる球団
- ・生活その他の条件の良い球団

ドジャースは今シーズン、ナショナルリーグの西地区で優勝をしており、ポストシーズン進出の常連です。リーグ優勝24回、ワールドシリーズでは7回優勝しています。

ナ・リーグも昨年から指名打者制に変わっており二刀流も可能です。

生活条件は同じロサンゼルスということもあって変わりません。チームは変わりますが、ロサンゼルスの大谷ファンを失望させるのも最小です。大谷選手にとっては条件にぴったりだったのではないのでしょうか。

余談ですが、ドジャースのデーブ・ロバーツ監督は沖縄出身で父親はアフリカ系のアメリカ人、母親は日本人です。

私は以前からドジャースのファンでした。ドジャースはニューヨークのブルックリンに本拠地を置いていましたが、1958年ロサンゼルスに移ってきました。当時の球団オーナーのオマリーさんは親日家で日本との親善試合などで関係を深めていました。

メジャーリーグに移籍した実質的な日本人初の野茂英雄選手が選んだのはドジャースでした。それ以後野茂選手を含めて9人の日本人選手がドジャースで活躍しています。大谷選手は10人目となります。

来シーズンは二刀流はおあずけで打者としての活躍に絞られますが、ぜひワールドシリーズに進出して実力を発揮してほしいと願ってます。

2023年日本10大ニュース（NO. 1769）（令和5年12月24日）

2023年12月23日、読売新聞の読者が選んだ「2023年日本10大ニュース」が決まりました。

- 1 WBC、日本が14年ぶり優勝
- 2 大谷翔平、米大リーグで本塁打王
- 3 ジャニーズ事務所、性加害認め謝罪
- 4 将棋の藤井聡太竜王が史上初の八冠
- 5 阪神が38年ぶり日本一
- 6 闇バイト強盗、指示役「ルフィ」ら逮捕
- 7 新型コロナが「5類」へ移行
- 8 ビッグモーターが保険金不正請求
- 9 記録的猛暑、夏の平均気温過去最高
- 10 福島第一原発の処理水放出開始

読売新聞が用意した11月までの57項目から10項目を選んで応募する方法です。

有効応募総数は昨年の26,606通よりやや少ない25,304通でした。年代別では70歳以上が一番多く30%でした。それに次いで多かったのは60歳代で25%でした。19歳以下は18%で3番目でした。

全项目的中者は昨年の11名から大幅に増えて19名となりました。全体では昨年同様6项目的中者が一番多く24.1%でした。

私も応募しました。昨年は8项目的中でしたが、今年は7項目に終わりました。

- 6, 8, 10の代わりに
- 12 各地でクマ被害、死傷者過去最多
- 19 旧統一教会の解散命令請求
- 25 車いすテニス国枝さんに国民栄誉賞を選びました。7项目的中者は22.3%でした。驚きは大谷翔平選手と藤井聡太棋士です。

大谷選手は一昨年1位、昨年4位に続いて3年連続です。今年の1位のWBC優勝も大谷選手がMVPに選ばれるなど、その貢献が大きいですから、3年で4回選ばれたことになります。

藤井さんは昨年の9位に続いて2年連続です。素晴らしいですね。今後もお二人に期待しましょう。

2023年海外10大ニュース（NO. 1770）（令和5年12月25日）

2023年12月24日、読売新聞の読者が選んだ「2023年海外10大ニュースが決まりました。

1 ハマスがイスラエルに大規模攻撃、イスラエルが報復

2 トルコ・シリア大地震5万人超死亡

3 ハワイ・マウイ島で大規模山火事

4 ロシアのウクライナ侵略1年。戦況は膠着

5 英国のチャールズ国王が戴冠式

6 「ツイッター」の表示「X」に変更

7 WHOがコロナ緊急事態を解除

8 露民間軍事会社「ワグネル」が反乱。南部の露軍事拠点を一時制圧

9 フィンランドがNATO加盟。31か国体制に

10 ラグビーW杯、南アが2大会連続、最多の4度目V

読売新聞が用意した11月までの53項目から10項目を選んで応募する方法です。

有効応募総数は昨年の20,070通より大幅に減って17,684通でした。年代別では70歳以上が28%、20歳代が26%、50歳代が19%の順でした。

全项目的中者は昨年の1人より増えて3人でした。全体では5项目的中者が最も多く25.4%でした。

私も応募しました。昨年と同様6項目しか的中しませんでした。

3、6、8、9の代わりに

11 北朝鮮「軍事偵察衛星の発射成功」

15 中国の習国家主席3選

25 ノーベル生理学・医学賞にカリコ氏

30 番外 米下院議長、史上初の解任

を選びました。3を入れなかったのは私の完全な見落としでした。

海外10大ニュースは国内10大ニュースに比べると、応募者も中率も毎年少なくなっています。国民の関心が少ないのと、情報が少ないためかもしれません。

本格的な補聴器に替えた(NO. 1772)(令和6年1月5日)

2023年12月26日、補聴器を本格的なものに替えました。

今まではニコンのエシロール耳穴型デジタル補聴器や、オムロンのイアメイトデジタル補聴器を、人と話すときやテレビを見るときなどに適宜使用していました。普段はつけていなかったのです。これらの補聴器は2万円台で、新聞広告を見て注文し購入したものです。

その後やや難聴の程度が進んだのとニコン補聴器が聞こえにくくなったため、常時つけるものに替えることにしました。

新聞広告で購入した補聴器は性能が落ちてきたときには、新しいものを再度購入するか、メーカーに送って1年の保証期間が過ぎれば有料で直してもらふことになります。その手間を考えると眼鏡店でメンテナンスができるものが望ましいのです。

近くの眼鏡市場に行き、耳の検査をしてもらい、いろいろなメーカーのいろいろなモデルを比較して、リサウンドの耳あな型に決めました。常時装着するため右の片耳だけにしました。両耳でも試しましたが、違和感を感じたため片耳にしました。



料金は15万円でした。補聴器は消費税はかかりません。

使い始めて10日ほどたちましたが、聞こえがよくなり快適です。耳穴に粘土をいれ型を取って作るオーダーメイドのため、今までのピーピーというハウリングは全くありません。周りの音を大きく拾うこともありません。早くこれに替えておけばよかったと感じています。定期的に眼鏡市場に通って検査とメンテナンスのサービスが受けられます。

司馬遼太郎の生誕100年は昨年だった(NO. 1773)(令和6年1月9日)

国民的作家の司馬遼太郎は1923年8月7日生まれで昨年は生誕100年の記念の年でした。

私は司馬遼太郎が一番好きな作家です。

書棚には司馬遼太郎の本が最後まで残っていましたが、2020年から読んでは処分するという本の終活をしています。2024年1月9日まで、小説18作品60冊、「街道をゆく」27冊を読み終わりました。街道をゆくはあと15冊残っています。

司馬さんが亡くなったときのことはよく覚えています。1996年2月12日に大動脈りゅう破裂で急逝しました。

2月29日の週刊文春には、次のような書き出しで追悼の特集が組まれていました。

「日本とは、日本人とは何か—この国に熱き思いを馳せ続けた、戦後最大の国民作家が亡くなった。享年七十二。膨大な資料をもとに縦横無尽に語られる著作の数々は、歴史小説という枠を越えて、人間の生きる姿を生き生きと描き出し、多くの読書人に愛された。観念主義にとらわれない氏の文章は戦後日本人への激励であり、また日本への警鐘でもあった。後世への大きな贈り物を残して、惜しまれながら巨匠は逝った。」

本当にショックでした。私が司馬遼太郎の小説を読んだのは30歳くらいのころ、「竜馬が行く」が初めてでした。その面白さにすっかり司馬ファンになりました。



司馬さんが亡くなったときに出された文芸春秋臨時増刊「司馬遼太郎の世界」によると、読者の

好きなベストスリーは次のようになっています。

一般社員

- 1 竜馬が行く
- 2 坂の上の雲
- 3 国盗り物語

経営者

- 1 坂の上の雲
- 2 竜馬が行く
- 3 翔ぶが如く

大河ドラマでは司馬遼太郎の原作が一番多くなっており、スペシャルドラマの「坂の上の雲」を含めると7作品がドラマ化されています。

日本の月探査機が月面着陸に成功した（NO. 1777）（令和6年1月21日）

2023年1月20日、JAXA（宇宙航空研究開発機構）の月探査機「SLIM」が日本の無人探査機として初めて月面着陸に成功しました。旧ソ連、アメリカ、中国、インドに次いで5か国目となる快挙です。



SLIMは世界で最も精密な誤差100メートル以内の「ピンポイント着陸」に挑戦しました。成否はデータ解析を経て約1か月に明らかになります。

ただ残念なことに着地の段階で太陽電池が太陽の方向に向かなくなり機能しなくなりました。太陽の向きが変わって太陽電池が復旧する可能性もありますが、発電ができないと予定していた岩石の組成の分析ができません。

JAXA宇宙科学研究所の国中所長は記者会見で「ぎりぎり合格の60点とさせていただきたい」と話していました。

今、月面開発は各国の競争の場になっています。鉱物資源や水を求めてしのぎを削っていると言われています。地球上ではいろいろな紛争が起っていますが、紛争を月に持ち込まないようにしてほしいものです。